

令和4年度農林水産技術会議開催結果

水産技術センター

開催日	令和5年1月26日	開催場所	水産技術センター相模湾試験場
部会名	研究課題設定部会		
評価課題	農林水産試験研究推進構想（水産業の部）の改定について		
評価委員	東京海洋大学産学・地域連携推進機構 客員教授 神奈川県漁業協同組合連合会 代表理事会長		
評価概要	<ul style="list-style-type: none"> ・水産業や県民から見て、非常に重要な課題を網羅していると考えらえる。重要な課題に対して研究機関がいかに関与するかというところに先進的な視点も入れて計画が作られている。 ・計画の達成については、研究員にとっては負担が多いと思われ、個々の課題についての達成の度合いは、絞ったほうが高まると考えらえる。 ・今後5年間の成果の普及効果や波及効果が明確であるかは、目指すところの目標を明確に練っていただくと分かりやすくなる。 ・中期的な計画としてふさわしいと考えるが、上記の点について少し見直ししていただくとより良い推進構想となる。 ・推進構想は、漁業者の立場から見て、これだけの課題があり我々が持っている悩みは網羅されていると思われ、研究課題や5年後の目標が前向きな取組みに感じられる。 ・5年間でできる課題もあれば、地球環境も踏まえるとブルーカーボンなどの課題は大きすぎる感じがする。100点満点とはいかなくても、次々と課題が出てきてその都度解決しないとイケないことから、5年後に半分くらいの課題ができれば良いと考える。 ・課題を考えだせばいくらか出てきて課題が多すぎてしまうので、5年間の取組み内容として考えると、十分であり課題に向かって進みやすい計画だと感じた。 		

開催日	令和5年2月14日	開催場所	横浜市漁業協同組合
部会名	研究成果評価部会		
評価課題	東京湾の重要水産資源の資源構造の解明		
評価委員	東京海洋大学名誉教授 横浜市漁業協同組合柴支所長		
評価概要	<ul style="list-style-type: none"> ・県の重要資源である魚種を対象としており、目的も明確で大変良いと思われ、新しい知見がたくさん見られ、話を聞いてとても興味深く達成度も高いと感じた。今後の普及について、例えば、タチウオの場合、遊漁者、小底の漁業者等と総合的に管理を実施していくという提案をされていて、素晴らしいと思われる。是非実施していただきたい。総合的にみて大変良い研究成果だと思われる。 ・5年間の調査研究で、漁業者にとってうわさであったり想像でしかなかった部分をはっきり明らかにしていただいた。今後もこのような調査を継続していただき、我々に何ができるのか、何をすべきなのか投げかけていただければ、可能な限り自分たちの生活に関わることなので協力して成し遂げていきたい。 		